

電気工事士免状交付申請書

年 月 日

埼玉県知事

申請者

〒	—
住 所	
電 話	
(フリガナ)	
氏 名	
生 年 月 日	年 月 日生

電気工事士法第4条第2項の規定により第一種電気工事士免状の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

免状に記載する氏名

楷書でお書きください

住民票等に記載された旧姓・通名が使えます。
必ず、フリガナを記入してください。
「同上」とは書かず必ず記入してください。

(フリガナ)

(氏名)

◎ 電気工事士免状を受ける資格	1 第一種電気工事士試験に合格し、かつ、実務経験を有する
	2 認定 (電気主任技術者・高圧電気工事技術者)

※ 経 過 欄

※ 受 付 欄

(備考)

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- ◎印欄は、該当する事項を○で囲み、これを証明する書類を添付すること。
- ※印欄には、記入しないこと。
- この申請書に、住民票等及び顔写真(この申請書を提出する前6か月以内に撮影した縦4cm、横3cmのもので、裏面に氏名を記入したもの。)を添付すること。
- 第一種電気工事士免状交付申請に伴う手数料は、6,000円です。手数料の納付方法はキャッシュレス決済となります。

免状の送付先

〒 —

◆住所

「住所、氏名及び生年月日を確認めるに足りる書類」(住民票や運転免許証)に記載されている「住所」を記入してください。

◆電話

日中に連絡の取れる「電話番号」を記入してください。

◆フリガナ

記入漏れに注意してください。

◆免状に記載する氏名

「住所、氏名及び生年月日を確認めるに足りる書類」に記載されている字を使います。

・免状に記載する氏名に「旧姓等」を用いたい場合は、この記入欄の氏名を必ず「旧姓等」にしてください。

・「住所、氏名及び生年月日を確認めるに足りる書類」で確認できる場合は、免状に記載する氏名を「旧姓等」で交付します。

◆電気工事士免状を受ける資格

主任技術者免状取得者又は高圧電気工事技術者試験合格者として認定により免状交付を申請する場合は、「2」を丸で囲むとともに、いずれか一方の資格も丸で囲んでください。

◆免状の送付先

免状は、申請者の住所へ、簡易書留で発送します。

「職場の方が受け取りやすい」などの理由で、申請者の住所と異なる場所で免状を受け取りたい場合は、記入してください。

申請書の書き方：認定申請（電気主任技術者取得者の場合）

様式第1の4（第5条関係）

電気工事士法第4条第3項第2号の認定申請書
第4項第3号

令和 **年 **月 **日

埼玉県知事

住所・氏名・生年月日は、「住所、氏名及び生年月日を確認するのに足りる書類」と同じ内容を記入してください。
いわゆる「外字」は、簡単な漢字に置き換えて記載することもできます。

(〒330-9301)
住所 さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号
氏名 電球 光一
生年月日 昭和 44年 1月 1日 生

電気工事士法第4条第3項第2号の規定により認定を受けたいので、
第4項第3号
次のとおり申請します。

申請に係る電気工事士免状の種類			第一種電気工事士免状
◎電気工事に関する資格	電気工事等に関して合格した試験、検定 免許、免状又は認定	試験、検定、免許、 免状又は認定の種類	第○種電気主任技術者 ※ 取得している免状等の種類を記入
		資格取得年月日	平成**年+十月**日 ※ 取得している免状等の取得年月日を記入
	電気工事士法施行規則第2条の4第1項に規定する電気に関する工事の経験年数		*年 ※ 自家用・事業用電気工作物の工事の従事年数を記入
	電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数		*年 ※ 電気主任技術者又は代役者として電気工作物の維持又は点検等に従事した年数を記入
	屋内配線又は屋側配線業務の経験年数		*年 ※ 一般用電気工作物の工事の従事年数を記入
	修了した講習	名称	
		修了年月日	年 月 日
※ 受付欄			※ 経過欄

(備考)

1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 ◎印欄の記載事項については、記載した事項を証明する書類を添付すること。

3 ※印欄には、記入しないこと。

申請書の書き方：認定申請（高圧電気工事技術者取得者の場合）

様式第1の4（第5条関係）

電気工事士法第4条第3項第2号の認定申請書
第4項第3号

令和 **年 **月 **日

埼玉県知事

住所・氏名・生年月日は、「住所、氏名及び生年月日を確認するのに足りる書類」と同じ内容を記入してください。
いわゆる「外字」は、簡単な漢字に置き換えて記載することもできます。

(〒330-9301)
住所 さいたま市浦和区高砂3丁目15番1号
氏名 電球 光一
生年月日 昭和 44年 1月 1日 生

電気工事士法第4条第3項第2号の規定により認定を受けたいので、
第4項第3号
次のとおり申請します。

申請に係る電気工事士免状の種類			第一種電気工事士免状
◎電気工事に関する資格	電気工事等に関して合格した試験、検定 免許、免状又は認定	試験、検定、免許、 免状又は認定の種類	高圧電気工事技術者 ※ 取得している免状等の種類を記入
		資格取得年月日	昭和 **年 + 十月 **日 ※ 取得している免状等の取得年月日を記入
	電気工事士法施行規則第2条の4第1項に規定する電気に関する工事の経験年数		* 年 ※ 自家用・事業用電気工作物の工事の従事年数を記入
	電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数		* 年 ※ 電気主任技術者又は代役者として電気工作物の維持又は点検等に従事した年数を記入
	屋内配線又は屋側配線業務の経験年数		* 年 ※ 一般用電気工作物の工事の従事年数を記入
	修了した講習	名称	
修了年月日		年 月 日	
※ 受付欄			※ 経過欄

- (備考)
- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 2 ◎印欄の記載事項については、記載した事項を証明する書類を添付すること。
 - 3 ※印欄には、記入しないこと。